



全校朝会 ～声をかけ合って高め合おう～



今日は、『声をかけ合って高め合おう』という話をします。フィギュアスケートの羽生結弦選手は、平昌オリンピックで2大会連続の金メダルを獲った日本を代表する選手です。2度のオリンピックで続けて世界一になるなんて、本当に素晴らしいことですね。

羽生選手は、金メダルを獲った後も偉そうにしたり、調子に乗ったりすることは、全然ありません。インタビューでも、「ここまで、たくさんの方々を支えられて生きてきました。スケートだけじゃなくて、こうやって羽生結弦として、たくさんの方々から育てていただいたことを本当に感謝

しています。」と、応援してくれた人や支えてくれた人たちに感謝の気持ちを話していました。とても謙虚で真摯な人だと思います。

その羽生選手の快挙をお祝いして、地元の宮城県仙台市の人たちが中心となって4月22日に祝賀パレードをおこないました。パレードには、地元だけでなく全国から10万8000人のファンが仙台の街に集まったそうです。パレードカーに乗った羽生選手は、笑顔で手を振ったり、首に掛けた金メダルを掲げたりして、ファンや市民と喜びを分かち合いました。

このパレードは、仙台市の道路1 kmの区間でおこなわれました。そこに10万人を超える人が集まってきたのです。パレードが終わった後の道路には、ごみがたくさん落ちていたことが予想できますよね。ところが、パレードの後、仙台市のボランティアスタッフがごみを拾いに回ったそうですが、道路にはほとんどごみが落ちていなかったということです。

これは、大好きな羽生選手の祝賀パレードをごみで汚さないようにと、ファンの人たちが声をかけ合い、ごみを捨てないように働きかけたり、落ちているごみを拾ったりしたからだそうです。礼儀正しい羽生選手には、マナーのある礼儀正しいファンがたくさんいるのですね。「羽生選手もさすがだけど、羽生ファンもさすがだ。」という声が全国からあがったそうです。パレードを運営する人たちがお願いをしたのではなく、一般の人たちが10万人もの人の心を動かしたってことです。本当にすごいなと思います。

さて、ここからは、皆さんに考えてほしいことです。

普段から先生方は、しっかりした態度で授業を受けましょう。友だちが嫌がることを言ったり、やってたりしてはいけませんよ。掃除をきちんとしましょうね。など、いろいろなことを皆さんに話していると思います。これは、学校生活を通して、一人一人が真っ直ぐに成長していく力をつけるために話してくださっているのです。また、児童集会で委員会の委員長さんたちが、学校のことを大事に使ってくださいとか、笑顔であいさつができるようにしましょうとお願いしたこと、より良い相生小学校にしたいという思いから、それぞれの立場で話してくれたことです。

でも、先生方や委員長さんたちが皆さんに大切な話をしても、それをやるのは、皆さん自身です。皆さんの心が「やるぞ」ってならないとできないことです。でもね。人は、樂をしたいとか、少しくらいなら手を抜いてもいいやとか、面倒くさいなあとか考えます。弱い心が出てきちゃいます。そんな時に、クラスの仲間同士、友だち同士で「掃除をがんばろうね」とか「話し合い活動をしっかりやろうね」と声をかけ合ったり、お互いに大きな声で元気にあいさつをし合ったりできたらいいなあって思います。先生や上級生から言われるのではなくて、自分たちで声をかけ合い、取り組めることが、本気のか、本当の力になるのじゃないかなって思います。このことは、羽生選手の祝賀パレードに参加したたくさんの方々の人たちの思いや行動から感じ取れました。こういった素晴らしい力、美しい行動って見習っていきたいですね。

「声をかけ合って、お互いを高め合うこと」は、普段の学校生活の中で、皆さんにもできることだと思います。